

令和3年第3回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年4月22日（木曜日）			開会	9:54		会議場所	別海町議会 委員会室2・3				
	閉会	14:36										
委員の出欠	1 番	横田 保江	出席	6 番	大内 省吾	出席	7 番	木嶋 悦寛	出席			
	10 番	小林 敏之	出席	14 番	佐藤 初雄	出席						
出席説明員	総務部長		総務部次長兼総務課長	総合政策課長		ふるさと応援・情報化推進室長						
	浦山 吉人	欠席	入倉 伸顕	出席	寺尾真太郎	出席	松本 博史	出席				
	財政課長		税務課長		防災交通課長		尾岱沼支所長					
	角川 具哉	出席	伊藤 輝幸	出席	麻郷地 聡	出席	福原 義人	出席				
	西春別支所長		総務課主幹		総合政策課主幹		ふるさと応援・情報化推進室長代理					
	田村 康行	出席	齋藤 陽	出席	皆川 学	出席	山田 哲哉	出席				
	防災交通課主幹		総務課主査		総合政策課主査		財政課主査					
	深川 淳一	出席	池田 大海	出席	大森 圭介	出席	佐藤 貴也	出席				
	財政課主査		税務課主査		税務課主査		防災交通課主査					
	戸野 昌雄	出席	伊藤 武史	出席	高橋 克彦	出席	武田 聖士	出席				
	防災交通課主査		西春別支所主査									
	相馬 儀彰	出席	佐藤 政士	欠席								
	選挙管理委員会		書記長		書記							
		入倉 伸顕	出席	池田 大海	出席							
	出納室		会計管理者		出納室長							
		中村 公一	出席	佐々木いずみ	出席							
	監査委員事務局		監査委員事務局長									
		千葉 宏	出席									
	別海消防署		別海消防署署長		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼予防課長					
		山田 勝人	出席	山桑 貴光	出席	西塚 隆幸	欠席					
	教育委員会		教育部長		教育部次長兼生涯学習課長他	指導主幹		指導主幹				
			山田 一志	出席	石川 誠	出席	相澤 要	出席	稲村 和典	出席		
			指導参事		学務課長兼学校給食センター長		学校教育課長		中央公民館長			
			吉光寺 勝己	出席	宮本 栄一	出席	池田 卓也	出席	新堀 光行	出席		
西公民館長			東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学校教育課主幹					
田村 康行			出席	福原 義人	出席	堺 啓	出席	堀込 美穂	出席			
生涯学習課主幹			中央公民館副館長		西公民館副館長		東公民館副館長					
戸田 博史			出席	小村 茂	出席	木戸口 誠	出席	立澤 雅彦	欠席			
郷土資料館主幹			学務課主査		学務課主査他		学校教育課主査					
石渡 一人			出席	佐藤 亮	出席	大山 晋作	出席	高津 寛人	出席			
生涯学習課主査他		生涯学習課主査		学校給食センター主査		図書館主査						
上杉 大洋	出席	恒川 敦史	出席	平下 奈津子	出席	吉田 美奈子	出席					
委員外の出席							合計	0名				
事務局職員	事務局長	小島 実	主任		小野 絵里		合計	2名				
傍聴者数	一般	0名		報道関係者	0名		合計	0名				

令和3年第3回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 7番 木嶋	9:54 開会 出席委員5名、会期1日
委員長 7番 木嶋	挨拶
	【教育委員会所管事務調査】
教育部長 山田	挨拶及び4月1日付人事異動に伴う職員紹介、概要説明
	各課ごと職員 挨拶
	10:05 休憩
	10:07 再開
委員長 7番 木嶋	議事1 所管事務調査について
	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
教育部長 山田	口頭説明
	・ 概要 これまでの国、道の動向及び教育委員会の動向 4月6日、町内すべての小中学校で入学式を挙行。大きな混乱もなく無事終了した。 また、4月9日の校長会では、各学校でこれまでの感染症対策（毎朝の検温、児童の健康観察）を継続するよう依頼している。
学校教育課長 池田	・ 幼稚園、小中学校 新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル、学校の新しい生活様式に基づき対策を徹底。マニュアルについては、新しい情報・知見があれば随時見直す予定。予防対策は感染レベルに応じて対応。道、保健所、学校と連携して対策を取っていく。 コロナに係るいじめ差別について、発達段階に応じた指導や各家庭への通知を行う。 各学校に網戸・空気清浄機・扇風機を設置、蛇口をレバー式に交換する対応を行っている。
教育部次長兼生涯学習課長他 石川	・ 社会体育施設、社会教育施設 例年より2か月遅れ、6月から施設開放を開始。 網戸15施設・96カ所、換気扇1施設・2カ所設置済み。蛇口20施設・80箇所交換。奥行臼駅通所では、8カ所網戸設置。
中央公民館長 新堀	町及び（財）全国公民館連合会が定めたガイドラインに基づき、イベント開催時のマスク着用をお願い、検温、館内の換気徹底を行っている。昨年度経常予算において、蛇口をレバー式に交換。
西公民館長 田村	来館者への検温、マスク着用をお願い、手指消毒の徹底。利用後の消毒。トイレの蛇口交換、大集会室の排煙窓が開かない状態であったため、修理を行っている。 利用者側も活動を自粛するなどの動きがみられる。
東公民館長 福原	扇風機等による換気。網戸は従来から設置。来館者への検温、マスク着用をお願い、手指消毒の徹底。
図書館長・郷土資料館長他 堺	消毒の徹底、換気、マスク着用、入館者の連絡先記入、閲覧席を減らし密を回避。
委員長 7番 木嶋	質疑
	① 石川次長から報告のあった対策はすべて完了しているのか。
	② 奥行臼駅通所の網戸設置について、文化財としての配慮は。
	③ 図書館の入館制限の現状は。
教育部次長兼生涯学習課長他 石川	① すべて完了している。
	② 目立たない黒い網戸を設置。
委員長 7番 木嶋	② 町の財産ではあるが、国指定の文化財でもある。設置に関して関係官庁との調整は。
生涯学習課主幹 戸田	② 文化庁と調整はしていないが、緊急的なものであるのでなるべく違和感のない網戸を作成し設置した。取り外し可能であるため、感染対策期間のみ設置する。
図書館長・郷土資料館長他 堺	③ 滞在時間を約30分に制限。入館記録表をとっているが、カードを所持していない方が毎日1、2人おり、町外から来館されていると推測されるため制限解除が難しい。 GW明け、様子を見て緩和について検討する。

令和3年第3回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	7番	木嶋
委員	2番	横田
教育部次長兼生涯学習課長他		石川
委員長	7番	木嶋
学務課主査		佐藤
委員長	7番	木嶋
委員	14番	佐藤
学務課主査		佐藤
教育部長		山田
委員長	7番	木嶋
学務課長兼学校給食センター長		宮本
委員長	7番	木嶋
学務課長兼学校給食センター長		宮本
委員長	7番	木嶋
生涯学習課主査他		上杉
委員長	7番	木嶋
生涯学習課主査他		上杉
委員長	7番	木嶋
生涯学習課主査他		上杉
委員長	7番	木嶋

- ③ 30分は短い。感染対策を徹底して、柔軟な対応をお願いしたい。
- 各施設の記録表は大事。私たちは集会時に名前と電話番号を記入するようにしている。町の施設ではどの程度記入させているのか。
 - チェックシートを作成しており、個人は窓口で名前・住所・電話番号を記入、団体は事前に名簿を提出しているので利用当日の体温のみ記入。
 - 道の施設では入口でCOCOAの登録を促すところもある。感染症対策を取りつつ利用しやすい環境づくりをしていくのが大事。

(2) 北海道別海高等学校教育支援事業（通学バス助成事業）について 資料により説明

- 支援の仕組みについて
- これまでの経過及び実績について
- 今後の課題について
現物支給制度、概算払、その他
- 町内中学生の卒業者数及び別海高校入学者数等について

質疑

- 現物支給制度について、他町の状況を確認等はしているのか。
- 道内他市町村の資料など確認している。ほとんどの市町村で実績による申請方式を取っている。現物支給制度がある自治体にも直接連絡により確認を行い、実際には現物支給を行っていない旨確認した。
- 保護者の負担軽減という観点から考えた場合、どの方法にも違いはない。現物支給の支障となる町バスの道補助金との関係も考慮し、保護者の声を確認したうえで、実質的な負担軽減を行う制度として今後も改善を行ってきたい。
- 現物支給と概算払については、一時的に負担することが大変という声から話が出てきたのではないのか。また、現物支給を行う場合、補助金の申請時に必要となる乗車実態の把握ができないという説明があったが、それはなぜか。
- 補助申請時に実態に基づいた収入を記載する必要があり、乗車実態がつかめない場合は補助が当たらない可能性がある。補助金の所管は総務部であり、教育委員会で判断できるものではないため、総務部で判断することになる。
- この制度については教育委員会が主導で進めることではないのか。総務部に対して働きかけをしていないのか。
- 補助金に関係する以上、乗車実態がつかめない限り、現物支給には至らない。

10:41 休憩

10:51 再開

- 今後も検討を進めていただきたい。

10:52 休憩

11:00 再開

(3) まちなかの3館連携拠点と児童・生徒が集う学習環境づくりについて

資料により説明

- 令和4年度以降実施予定事業について
- 生涯学習センターを核とする3館連携基本方針について

質疑

- 生涯学習センターでの蔵書について、図書館との連携は。
- 図書館蔵書とのやりとり及びブックポストの対応は想定していない。また、選書については町民と生涯学習センター職員での対応を考えているが、対応が難しい部分は図書館司書に指導等をいただき進めることで図書館と打ち合わせ済み。
- ある一定のものに特化した蔵書内容を打ち出すのもありだと思う。もう少し図書館と連携したほうが良いのでは。
- 大人の図書委員会のようなものを設置し、選定していくのが生涯学習センターとしては望ましい。図書館来館につなげるキャンペーン等は考えられるし、社会教育委員からも話が出ている。

(4) 第7次別海町総合計画第3次実施計画について

令和3年第3回総務文教常任委員会 要点記録

教育部長 山田 学務課長兼学校給食センター長 宮本	3月の予算決算審査特別委員会でも説明しているため、主な事業のみ説明する。 資料により説明 <ol style="list-style-type: none"> 1 別海高等学校教育支援事業 2 コミュニティ・スクール推進事業 3 小学校設備整備事業 4 小中学校記念事業 5 Let's Challenge検定助成事業 6 いじめ・不登校問題対策事業 7 生きる力アッププロジェクト事業 8 外国青年招致事業 9 学校・家庭・地域連携協力推進事業 10 生涯学習センター整備事業 11 特定防衛施設周辺調整交付金事業 生涯学習センター備品購入事業 12 友好都市少年少女ふれあいの翼交流事業 13 奥行地区文化財保存整備事業 14 ヤチカンバ群落地保護事業 15 パイロットマラソン事業 16 町営ランニングコース・パークゴルフ場整備事業 17 乳幼児母親家庭学級（すくすく学級）事業 18 図書館図書等購入事業 質疑 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域連携協力推進事業について、もう少し具体的な説明を。 ・ 本事業は国の補助事業で、財源は国1/3、道1/3、自治体1/3。学務課所管のコミュニティスクール事業と連携し、地域と学校、地域と地域を繋ぐ形で実施する。今年度より開始する事業で、各学校区に地域団体等をコーディネートする人間を配置し、連携を図る。 放課後子ども教室については、地域の住民の方の協力をもって進める事業で、厚生労働省が実施する放課後児童クラブとは異なり、参加する学年や就業制限、開設日数の制限がない。町子ども・子育て支援計画の中で、子どもたちの放課後の居場所づくりとして要望が多かったのが尾岱沼地区と上春別地区であったが、そのうち尾岱沼地区で地域住民の方と調整がついたため、きらくで実施を予定し、120日の開設を目指して調整を進めている。 ・ コミュニティ・スクール事業について、住民の参加度を高める工夫や取り組みは。 ・ 中央地区のCSでは推進委員の多くが学校教育関係者で構成されており、学校に何をしてくれるのかという期待の方が大きい。今後、学校と地域が一体となることができるとか精査を進めたい。具体的には、町内会関係者が委員となることや、生涯学習推進協議会を別海地区に復活させ、地域活動や社会関係団体を取りまとめ調整ができる団体をCSと組み合わせるなど。 ・ いじめ・不登校問題対策事業について、全校へのスクールソーシャルワーカー配置とまでは言わないが、それ相当の研修を受けた人材の配置や学校内部で児童の細かい変化に気が付くような体制づくりが必要。初期の段階で見つけることが大事。体制の強化についてどのような考えを持っているか。 ・ ふれあいルームでは指導員2名体制で対応、各学校については養護教諭が主となって対応している。ふれあいルーム、各学校の養護教諭、中央小に配置しているソーシャルワーカー、道事業で配置されている心理士、保健課心理士で連携し対応。昨年度から西地区にもサテライトを設置し、週に数回指導員を配置している。 ・ 全部を養護教諭が受け止めるのは難しい。もう少しきめ細やかなで、兆候をいち早く察知できる体制づくりが必要だと思うが。 ・ いじめを早く認識して、解決する形で対応するため、各学校の教諭・養護教諭等が一律になって行っている状況。案件が発生した場合には、教育委員会、ソーシャルワーカーや心理士等全体で連携して対処していく。
学校教育課長 池田	
教育部次長兼生涯学習課長他 石川	
中央公民館長 新堀 図書館長・郷土資料館長他 堺	
委員長 7番 木嶋 委員 14番 佐藤 生涯学習課主査他 上杉	
委員長 7番 木嶋 生涯学習課主査他 上杉	
委員長 7番 木嶋	
学校教育課長 池田	
委員長 7番 木嶋	
学校教育課長 池田	

令和3年第3回総務文教常任委員会 要点記録

委員長 7番 木嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国青年招致事業について、英語指導助手の雇用形態が全国で異なり、低給料による生活苦等が起こっているというニュースがある。別海町では、どのような雇用形態となっているのか。
学校教育課長 池田	
委員長 7番 木嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、ALTは2名在籍しており、北海道の国際課を通じて（財）クリアから派遣される。その団体から自治体に対して雇用形態について示されており、それに基づき教育委員会で雇用に関する要綱を作成している。他の民間の派遣あっせん団体もあるが、低い給料体系となっている。現在、ALTからは給料などに関して苦情等はない。
教育部長 山田	
委員長 7番 木嶋	(5) 公共施設の建設・更新計画について
委員 14番 佐藤	(6) 個別計画の策定・更新計画について
学務課長兼学校給食センター長 宮本	今後、委員会として調査計画を立てるうえでの資料提供ということで、公共施設建設・更新予定一覧及び個別計画策定・更新予定一覧を配付する。詳細については、計画に沿った今後の調査の中で説明をしていきたい。
委員長 7番 木嶋	質疑
委員 14番 佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の長寿命化改修に関連して、小中一貫校にしていくなど検討した結果、このような改修計画となっているのか。
委員 14番 佐藤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央小はR2基本設計、R3実施設計、R4・5で改築の流れであったが、コロナの関係でソーシャルディスタンスを取るため、教室の広さなど見直す必要が出てきた。また、改修の計画については、小中一貫とすることも踏まえながら検討していく。
委員長 7番 木嶋	その他
教育部次長兼生涯学習課長他 石川	(2) 社会教育施設等のオープン状況について
委員長 7番 木嶋	資料により説明
委員長 7番 木嶋	質疑なし
指導参事 吉光寺	(3) その他
委員長 7番 木嶋	資料により説明
委員長 7番 木嶋	1 GIGAスクールの推進について
委員長 7番 木嶋	今後、タブレットを用いて、リモート授業の検証と複式2校合同で単式学級の授業を実施する検証をしていく。
委員長 7番 木嶋	教育委員会 11:59 終了 休憩
総務部次長 入倉	12:56 再開
総務部次長 入倉	調査概要説明
委員長 7番 木嶋	4月1日付人事異動に伴う職員紹介
総務部次長 入倉	出納室、監査委員事務局、別海消防署職員 挨拶
委員長 7番 木嶋	12:58 休憩
総務部次長 入倉	13:00 再開
委員長 7番 木嶋	【総務部所管事務調査】
総務部次長 入倉	挨拶
委員長 7番 木嶋	挨拶及び4月1日付人事異動に伴う職員紹介
総務部次長 入倉	各課ごと職員 挨拶
委員長 7番 木嶋	13:11 休憩
委員長 7番 木嶋	13:12 再開
委員長 7番 木嶋	議事1 所管事務調査について
防災交通担当主査 武田	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
委員長 7番 木嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政業務全般に係る業務継続計画（BCP）について
委員長 7番 木嶋	資料により内容説明
委員長 7番 木嶋	質疑
委員長 7番 木嶋	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際シミュレーションを行い、実体験をとおして浮かび上がる課題を蓄積していくことが重要。災害訓練等も形だけではなく、大掛かりにやらないと見えてこない。今後、検証や実証をどのように行おうと考えているか。
防災交通担当主査 武田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画だけではなく、防災全般に言えることだが、計画が重要ということではなく、訓練を実施し、いかに実践に移すかが大事である。町全体で防災訓練を実施することは広域であり、かつ町内会も多数存在することから難しいが、職員の対応、町内会、各自

令和3年第3回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>主防災組織に声かけをし、毎年行っている防災訓練に併せて計画も取り込み進めている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実行性を持つことは重要であるので、ぜひ取り組んでいただきたい。図上訓練を行うなどできるところから進めてほしい。
委員長 7番 木嶋	
ふるさと応援・情報化推進室長代理 山田	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT部門の業務継続計画（BCP）について
	資料により内容説明
委員長 7番 木嶋	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を管理していくうえでクラウドへの依存と高めていく必要があると考える。庁舎内のサーバーへの依存度は。また、その依存度合いを今後変えていく予定は。 ・ 現在、ほとんどの情報をクラウド化し、札幌のサーバーで管理している。本町は基本的に庁舎内サーバーで管理している重要な情報は無い。 ・ 庁舎内サーバーの被害状況を確認するという話があったが、そのサーバーはどのように活用しているものなのか。 ・ 札幌との通信を行うためのサーバーでいわゆるネットワーク機器。故障した場合、札幌のサーバーにアクセスできなくなる。そのような機器について、正常に稼働しているかを優先的に確認することとしている。
ふるさと応援・情報化推進室長代理 山田	
委員長 7番 木嶋	
ふるさと応援・情報化推進室長代理 山田	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員への新型コロナウイルス対応について
	資料により内容説明
委員長 7番 木嶋	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が検体採取をされた場合、濃厚接触者の洗い出しなど行うこととしているが、これは保健所の業務では。なぜ町で実施するのか。 ・ 濃厚接触者の洗い出しは保健所の業務ではあるが、検体採取から確定までの間タイムラグがあるため、感染の拡大を防止するため町独自で行動履歴調査など実施する。状況によって休暇措置がとれるよう追加した。 ・ 基本的には保健所が実施する部分なので、町としては協力という形で行うところを明確にして整理する必要があるのでは。 ・ 業務の住み分けについて整理し、再度通知したい。
総務課主幹 齋藤	13:51 休憩
	13:58 再開
委員長 7番 木嶋	(4) 第7次別海町総合計画第3次実施計画について
総務課主幹 齋藤	資料により内容説明
	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定防衛施設周辺整備調整交付金基金事業 子ども医療費助成事業 2 ふるさと応援制度推進事業 3 移住定住促進事業 4 第15回友好都市サミット開催事業 5 空き家等対策事業 6 通院等乗合ハイヤー事業 7 庁舎内ネットワーク整備事業 8 土砂災害警戒区域対策事業 9 防災行政無線等整備事業 10 防災ハザードマップ作成事業 11 コミュニティFM放送通信施設整備事業 12 地域防災センター改修等事業 13 省エネ防犯灯整備事業 14 協働のまちづくり推進事業 15 コミュニティ助成事業 16 町制施行50周年記念式典開催事業 17 公用車導入事業 18 選挙投票用紙読取分類機購入事業
委員長 7番 木嶋	<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティFM整備事業について、具体的な運営の仕方についての方向性は。 ・ 予定として、通常時の放送については、現時点では町内で聞こえないところがある
防災交通担当主査 武田	

令和3年第3回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>が、各部署でイベント情報等を流したりしており、町内全域で視聴できるようになった場合にも各部署で放送依頼する流れは変わらない。</p> <p>災害時については、中標津町とFMはなどの契約状況を確認したところ、訓練放送を月2回程度、もしくは週1回程度。また、緊急地震速報や津波警報など緊急的な情報はFMを視聴している方に割り込み放送を実施。FMはな本局が被災した場合等は、例えば役場の防災無線室にサテライト局を設置し、そこからFMはな職員もしくは町職員が放送する訓練を行う等等1セットにして年間契約という形で考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私の実家がある愛知県東海市では、全世帯に緊急対応可能なFM受信機を配布している。緊急時に電源さえ確保できれば勝手に放送が流れる。費用はかかるが、防災効果が大きいのでぜひ検討してほしい。 ・ 緊急的に放送が流れる機器というのは認識してはいたが、現在、海岸地区には個別受信機を設置、屋外ラッパの整備した。内陸部への情報伝達手段が希薄というのもあり、FM活用の話が加速した。FM整備後、受信機の件も含め検討していきたい。
委員長 7番 木嶋	
防災交通担当主査 武田	
財政課長 角川	(5) 公共施設の建設・更新計画について 資料により内容説明
委員長 7番 木嶋	1 現時点での改修等実施予定について 質疑なし
総務部次長 入倉	(6) 個別計画の策定・更新計画について 資料により内容説明
防災交通担当主査 武田	1 概要説明 2 別海町国土強靱化地域計画 令和3年3月策定。本計画に基づき実施される取組や明記された事業に対し、国の一部補助金の重点配分や優先的採択されることが決定されている。
委員長 7番 木嶋	質疑なし
	議事2 その他
税務課長 伊藤	(1) 新型コロナウイルス感染症を原因とする町税の「減免」及び「猶予」の状況について 口頭説明
委員長 7番 木嶋	1 制度概要について 2 令和元・2年度「減免」及び「猶予」の実績について 質疑なし
	閉会挨拶 14:36 閉会